

## 「企業局経営計画 令和4年度進捗状況及び評価」について

## 1. 企業局経営計画の評価

「企業局経営計画」：平成29年度を初年度とする10年間

## 【令和4年度評価案】

項目数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
53	50(94%)	2(4%)	1(2%)	0(0%)

## 2. 令和4年度の実績

## (1) 順調または妥当（主なA評価）

## 経営目標1 「社会貢献の加速」

## ○スマート回廊を核とした地域振興

【No. 4】 カヌー・SUPの拠点施設の有効活用

【 KPI : 川口ダム湖を活用したウォータースポーツ体験者数 R4 20人 】

→ R4 ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流提携によるカヌー大会等、121人体験

## ○森づくりの支援

【No. 7】 ダム水源地での地域が進める森づくりを支援

【 KPI : 公有林化支援面積（累計） R4 882ha 】

→ R4 169haの公有林化取得を支援し、累計 1,011ha

## 経営目標2 「安全安心の確保」

## ○大規模自然災害を見据えたBCP等の見直しと各種訓練の実施

【No. 23】 メガソーラー電力や農水管連結設備を活用した防災・事故復旧訓練等の実施

【 KPI : 訓練の実施 7回以上／年 】

→ R4 小松島市との電力供給訓練や工業用水道管路想定故障研修等、8回実施

## ○「企業局業務のスマート化」の推進

【No. 25】 AI・IoTを活用した点検業務のスマート化

【 KPI : webカメラ・Wi-Fi環境の導入拡大 】

→ R4 2箇所の発電所に施設状況を確認するwebカメラ、Wi-Fi環境を導入

### 経営目標3 「経営力の強化」

#### ○働き方改革の推進

【No. 29】 職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透

【 KPI : 男性職員の育児参加のための休暇の取得率 毎年100% 】

→ R4 対象となる2人の職員が育児参加のための休暇を取得し、取得率 100%

#### ○駐車場事業の経営健全化

【No. 43】 藍場町地下駐車場へのAI・IoT導入による機能向上

【 KPI : 車番認識システムの導入 】

→ R4 ゲートレス、チケットレス、キャッシュレスの車番認識システムを導入

### (2) 概ね順調または概ね妥当 (B評価 2項目)

※KPIの数値目標が8割以上であったもの

### 経営目標3 「経営力の強化」

#### ○働き方改革の推進

【No. 28】 電子決裁システムの利用促進

【 KPI : 利用率 毎年100% 】

→ R4 「業務効率化」「生産性の向上」のため本格的移行に努めたが利用率 81%

#### ○駐車場事業の経営健全化

【No. 42】 駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保

【 KPI : 利用台数 R4 18万台 】

→ R4 コロナの影響による松茂駐車場利用台数の回復が遅れ、  
利用台数 169,910台

### (3) 要努力 (C評価 1項目)

※KPIの数値目標が8割未満であったもの

### 経営目標3 「経営力の強化」

#### ○未売水の低減対策

【No. 40】 新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大

【 KPI : 契約有収率 R4 74% 】

→ R4 阿南工業用水道において、将来に向けた試験的増量分の減量があり、  
契約有収率 73%

徳島県企業局経営計画における令和4年度進捗状況及び評価（一覧表）

経営目標Ⅰ 社会貢献の加速

【 】：前年度評価

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
① 自然エネルギー導入の加速				
多様な自然エネルギーの導入促進 【事業推進課】				
1	・市町村と協働した小水力発電の導入支援	市町村を含めたチーム体制による導入支援 2件以上/年	・美馬市及び上勝町と協働した小水力発電の導入に向けて、平時の自家消費や災害時にも活用が可能な事業化プランにおいて進入路の橋強度や地盤強化等の課題を検討するとともに、発電所管理用地の確保に向けた地価調査業務の発注、非常時の蓄電池の必要容量や物価上昇による採算性の再評価等について導入支援を行った。  【実績】 チーム体制による導入支援： R4 2件 協議や資料提供による導入支援	A 【B】
2	・地域資源に着目した民間事業者等への自然エネルギー導入支援	先進的な導入事例の調査研究	・徳島ビジネスチャレンジメッセ2022において3年間の木屋平ピコ水力実証実験結果の展示による情報発信を実施した。 ・食品残渣を利用した県内のバイオガス発電所2箇所の現地視察し、市町村の担当者向けの市町村脱炭素担当者会議で導入事例を紹介した。	A 【-】
		情報発信 2件以上/年	同上  【実績】 調査研究と情報発信：R4 2件	A 【-】
3	・市町村・民間事業者等への技術支援	ワンストップ技術支援の実施	・民間事業者5者に対して小水力発電等に関する情報提供を行った。	A 【A】
		関係部局と連携し、市町村・民間事業者等向け説明会の実施	・市町村・民間向け説明会（県・市町村再生可能エネルギー連絡協議会）は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止となったことから、会議資料（再生可能エネルギー導入に係る徳島県企業局の取組について等）を市町村脱炭素担当者会議にてグリーン社会推進課経由で送付した。	A 【B】
				総合 【A】
			総合 【A】	

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
② 「既存ストックの有効活用」と「施策連携」による地域社会への貢献				
スマート回廊を核とした地域振興 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
4	・カヌー・SUPの拠点施設の有効活用	カヌー・SUP拠点施設を活用したツーリズム催行回数 R4 1回	・R1年7月に策定した川口ダム湖畔活性化構想に基づき、R3年11月よりカヌー・SUP拠点整備を進め、R5年3月に完了した。 ・R4年4月2日及び3日に川口ダム湖においてお花見SUP体験が実施され、延べ15人が参加した。	A 【-】

		R5 4回 R6 4回 R7 4回 R8 4回	・8月7日に那賀町教育委員会主催のカヌー体験会が開催され、87人が参加した。 【実績】 ツーリズム催行回数：R4 1回	
		川口ダム湖を活用したウォータースポーツ体験者数 R4 20人 R5 100人 R6 100人 R7 100人 R8 100人	・R4年4月2日及び3日に川口ダム湖においてお花見SUP体験が実施され、延べ15人が参加した。 ・8月7日に那賀町教育委員会主催のカヌー体験会が開催され、87人が参加した。 ・ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流提携により、10月16日にカヌー大会が実施され、19人が参加した。 【実績】 ウォータースポーツ体験者：R4 121人体験	A 【一】
5	・日本科学未来館、あすたむらんど等との連携	企画展示数 5回以上/年	・4月16日から5月8日までの日程で、全国科学館連携協議会の協力により「いのちってなに？」の巡回展示を実施した結果、延べ715名の観覧があった。(その他の企画展示を含め合計5回実施) ・あすたむらんどから講師を招いた星空観望会を8月20日に開催した結果、21名の参加があった。 【実績】 企画展示等：R4 6回実施	総合 【A】 A 【A】
6	・川口エネ・ミュー10周年事業の実施	開館10周年記念に向け新事業の検討及び準備、実施	・万博の次年度が開館10周年を迎えることから、万博を絡めたSDGsに関するイベント開催について検討を行った。	A 【一】
<b>森づくりの支援 【経営企画戦略課】</b>				
7	・ダム水源地での地域が進める森づくりを支援	公有林化支援面積(累計) R4 882ha R5 962ha R6 1,042ha R7 1,122ha R8 1,202ha	・水力発電事業に係る県営発電所が所在する町において、公有林化を促進し、良質な水資源の確保を図るとともに、地域の環境整備や地域貢献に資するため「ダム水源の森を守り育てる事業」を実施した。 ・事業実施内容 予算額：R4 50,000千円 内 容：川口ダム又は棚野ダムの上流域の森林で、間伐等の適切な管理ができていない又は今後この恐れのある森林、町道又は林道沿いで風水害発生時の倒木により、集落の孤立や電線の寸断等の影響が懸念される森林を対象として、次に掲げる事業に対し補助金を交付する。 (1) 公有林化取得支援事業 (2) 森林整備等支援事業 (3) 森づくりの周知・啓発支援事業 ・その結果、那賀町等が実施した169haの公有林化取得を支援した。 【実績】 公有林化支援面積：R4 169ha、 累計 1,011ha	A 【A】
8	・町等が実施する森林の除間伐・植林等を支援	森林整備(除間伐・植林等)支援面積 100ha以上/年	・No.7「ダム水源の森を守り育てる事業」における「森林整備等支援事業」に対し、補助金を交付することにより、那賀町等が106haの森林整備を実施した。 【実績】 森林整備支援面積：R4 106ha	A 【A】
<b>地域振興事業の支援 【経営企画戦略課】</b>				
9	・水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援	支援団体数 15団体以上/年	・「電気事業に係る施設」が所在する町において行われる、地域の活力や魅力づくり等の推進活動、環境教育及び環境保全活動を支援する「ダム水源地サポート事業」を実施した。 ・事業実施内容 予算額：R4 5,500千円 内 容：県営発電所等が所在する町及びその水源地域(美波	A 【B】

			<p>町は赤松地区に限る)で実施される次に掲げる事業</p> <p>I型 (1)水源地域におけるイベント等の実施により、地域の活性化又は交流人口の拡大を図る事業</p> <p>II型 (1)ダム及び河川の保全に寄与する事業 (2)自然エネルギー及び環境保全学習を通して、次世代を担う人材育成を推進する環境教育事業</p> <p>・I型13団体、II型で2団体の合計15団体に補助金の交付決定を行った。</p> <p>【実績】支援団体数：R4 15団体</p>	
<b>ダム水源地域の河川環境改善 【事業推進課】</b>				
10	・地域鮎のブランド化やイベント開催による交流人口の増加	稚魚放流にあわせたイベントの開催3回以上/年	<p>・那賀川上流3漁協が主催の放流体験事業を各地域の子供達と一緒に実施した。</p> <p>【実績】イベント開催：R4 3回</p>	A 【A】
<b>局有施設の有効利用 【施設基盤整備室】</b>				
11	・新川口寮の多面的活用	多目的スペースの地域開放、サテライトオフィスの設置	<p>・R6年度完成に向け、関連工事を実施した。 (R3～R4：新築設計・給水管設計、敷地造成工事) (R5～R6：新築工事)</p>	A 【一】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価
<b>③ 戦略的な情報発信の推進</b>			
<b>SNS等の各種媒体の活用 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</b>			
12	・企業局事業の理解促進と水源地域の交流人口拡大に向けたSNS等による情報発信	<p>SNS等による情報発信 年100回以上</p> <p>・ダム水源サポート事業にて補助金を交付するイベントを事前周知する事により、閲覧者が急増するなど大きな反響を得た。</p> <p>・川口エネ・ミューにて実施されるイベントについて、事前周知と開催結果の発信を図り、人の目に触れる回数を増やした。</p> <p>・YouTube「川口エネ・ミューチャンネル」において、自然エネルギーの学習機会創出を図った。</p> <p>・ケーブルテレビでのミュージアムCM放送やフェイスブック等による情報発信を適宜行った。</p> <p>【実績】 記事掲載回数：R4 117回 アクセス数：R4 Facebook 20,496件、Twitter 154,577件 R3 Facebook 4,719件、Twitter 89,959件 R2 Facebook 12,104件、Twitter 112,562件 R1 Facebook 14,146件、Twitter 60,918件</p>	A 【A】
<b>県民理解の促進 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】</b>			
13	・水素を初めとする多様な自然エネルギーの学習機会の提供	<p>川口エネ・ミュー年間延べ体験者数(バーチャル含む)</p> <p>R4 18,000人 R5 18,300人 R6 18,600人 R7 18,900人 R8 19,200人</p> <p>・企業局事業や、自然エネルギーに対して県民の理解を得るため、ダムや太陽光発電施設等の見学会や学習会を行った。</p> <p>・7月9日、10月8日、3月4日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計53名の参加があった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策として、自然エネルギーに関するICT授業を実施したほか、「川口エネ・ミューチャンネル」での動画配信を随時実施した。</p> <p>・次代を担う子ども達に、水素をはじめとする「多様な自然エネルギー」の理解促進を図るため、学習教材(eブック)を制作した。</p>	A 【B】

			<p>【実績】 川口エネ・ミュー体験者数：R4 18,914人</p>	
14	<p>・水力・太陽光発電所、工業用水道の見学会による事業PR</p>	<p>企業局施設見学会実施 10回以上/年</p>	<p>・スマート回廊施設見学会は、R4年度は5月22日から2月26日まで11回実施し、延べ21名の参加があった。 ・8月に川口ダム7回、日野谷発電所5回の見学会を実施したところ、延べ86人の参加があった。 ・8月24日に吉野川北岸工業用水道浄水場にて、工業用水道の見学会を実施したところ、8名の参加があった。</p> <p>【実績】 見学会実施回数：R4 24回</p>	<p>A 【一】</p>
15	<p>・ICTを活用した県内小中学校での出前授業（アウトリーチ）の実施</p>	<p>eブックの制作</p>	<p>・次代を担う子ども達に、水素をはじめとする「多様な自然エネルギー」の理解促進を図るため、学習教材（eブック）を制作した。</p>	<p>A 【一】</p>
		<p>環境学習などの出前授業の実施 15回以上/年</p>	<p>・環境や自然エネルギーの大切さを学ぶとともに、ミュージアムの入館者増へ繋げるため、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、徳島県内の小学校及び学童クラブなどで出前授業を行った。</p> <p>【実績】 出前授業：R4 31回開催 参加者895人</p>	<p>A 【A】</p>
				<p>総合 【A】</p>
16	<p>・企業局の森づくりを情報発信</p>	<p>「エネ・ミューの森」等でのイベント実施数 3回以上/年</p>	<p>・H29年度に取得、整備した森林体験エリアを活用し、7月9日、10月8日、3月4日に開催した「とくしま自然エネルギー探検隊バスツアー」において、木工体験や森林散策を実施した結果、合計53名の参加があった。 ・11月12日に秋の間伐体験を実施した結果、12名の参加があった。</p> <p>【実績】 イベント実施数：R4 4回実施</p>	<p>A 【A】</p>

**経営目標 2 安全安心の確保**

取組	K P I 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
<b>④ 大規模災害を迎え撃つ、老朽化対策及び事前復興の取組</b>				
<b>南海トラフ巨大地震対策の加速 【経営企画戦略課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</b>				
17	・工業用水道管路の耐震化の推進	第2次管路更新計画の実施 (阿南) R7 20% R8 40%	・阿南工業用水道において、第2次管路更新計画として「幸野配水支管・辰巳配水支管」の耐震化に向けた設計・測量業務を実施した。	A 【A】
		管路更新優先度評価の実施	・継続的に耐震化事業を行うため、管路の「優先度評価」及び「試掘調査による老朽度確認」を5年毎に実施している。この評価結果に基づき「管路更新計画」を策定する。 ・実施年度：H28、R3、R8予定	A 【一】
				総合 【A】
18	・川口ダム施設の耐震化の推進	耐震化の実施(ゲート巻上機の補強)	・水車発電機内部点検手入れ実施後のR7年度以降に、川口ダム付属施設の耐震化対策を実施する。	A 【A】
<b>老朽化対策の計画的推進 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</b>				
19	・日野谷発電所大規模改修による長寿命化・強靱化対策の実施	大規模改修の計画的推進	・「最適な設備更新」と「発電能力の増強」の実現に向けた基礎資料を作成するため、構築物現状診断業務(R4～R5)を実施している。 ・「日野谷発電所大規模改修等プロジェクト検討会議」を1回開催し、各課題について検討を行った。	A 【一】
20	・企業局設備に係る長期工事計画の策定及び計画に基づく設備更新	電気、工水、駐車場事業の長期工事計画の見直し	・「電気事業」について、長期工事計画の見直しを行い、R5年度からR14年度までの10か年の長期工事計画を策定した。(工業用水道・駐車場事業は、R3年度に策定済み)	A 【A】
		設備の更新	長期工事計画に基づき、実施した主な内容 ・電気事業では、日野谷発電所において水車発電機の改良及び内部点検手入れ工事を施工し、新品時の性能復元を図った。また、ランナを「現地補修」から「工場修理」に変更することで、適切な加工により品質を向上させ、設備の信頼性向上につなげた。 ・吉野川北岸工業用水道では、第1次管路更新計画の完了となる今切第一配水支管管路連結工事を施工した。 ・阿南工業用水道では、2号送水ポンプ設備改良及び内部点検手入れ工事。2号主電動機設備内部点検手入れ他工事を施工した。	A 【A】
				総合 【A】
<b>渇水対策の推進 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</b>				
21	・地下水送水設備の長寿命化	計画的な設備等の修繕等	・老朽化した設備の計画的な修繕等を実施した。(R4-R5：第1地下水送水設備取水、送水ポンプ盤取替)	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
<b>⑤ 危機管理体制の強化</b>				
大規模自然災害を見据えたBCP等の見直しと各種訓練の実施 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
22	・BCP、応援協定、事前復興マニュアル等の見直し	新たな災害に対応したBCP等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>「徳島県災害対策本部運営規程」の改定に合わせ、「徳島県企業局災害対策要綱」の改定を実施した。</li> <li>危機管理環境部の改定に合わせ、「個別災害対応業務実施マニュアル」の改定を実施した。</li> </ul>	A 【A】
23	・メガソーラー電力や農水管理設備を活用した防災・事故復旧訓練等の実施	訓練の実施 7回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の各種防災・事故復旧訓練を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○防火防災訓練（6/8 消火設備取扱訓練・自衛消防訓練、11/22 オイルフェンス敷設訓練（川口））</li> <li>○8/30 工業用水道管路想定故障事例研修</li> <li>○11/24 電力系統事故復旧訓練</li> <li>○1/17 徳島県図上訓練に合わせた相互応援協定に基づく支援要請訓練</li> <li>○2/17 工業用水道施設緊急対応研修会（支援業者）</li> </ul> </li> <li>「災害時における和田島太陽光発電所の電力供給に関する協定」に基づき、小松島市と訓練を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○1/17 電力供給要請の情報伝達訓練</li> <li>○3/10 電力供給訓練（自立運転切替操作）</li> </ul> </li> <li>9/18（台風14号）、12/23（大雪）に対応するため、県災害対策本部の設置に合わせ、企業局災害対策本部を設置した。</li> <li>停電時における予備発電機燃料の補給体制を確立した。</li> </ul> <p>【実績】訓練・研修会：R4 8回実施</p>	A 【A】
発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
24	・四国4県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用	訓練の実施 3回以上/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1/17の徳島県図上訓練に合わせ、建設業及び設備業協会との応急復旧協定に基づく支援要請訓練を実施した。</li> <li>1/17に徳島県図上訓練に合わせ、鳥取県との相互応援協定に基づく支援要請訓練を実施した。</li> <li>2/9（情報伝達）、2/16～17（実地）に四国4県の相互応援協定に基づく訓練を実施した。</li> </ul> <p>【実績】訓練：R4 3回実施</p>	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
<b>⑥ 適正な施設の維持管理とDX実装による工事、維持管理業務等の効率化</b>				
「企業局業務のスマート化」の推進 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
25	・AI・IoTを活用した点検業務のスマート化	Webカメラ・Wi-Fi環境の導入拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂州発電所と川口発電所に施設状況をモニタリングするWebカメラ、Wi-Fi環境を導入した。</li> </ul>	A 【A】
		管路漏水検知システムの実装・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>今切第一配水管において漏水検知システムを実装した。</li> </ul>	A 【-】
総合 【A】				
26	・設備の保守管理等でのドロー	ダム・発電所等に	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業用水の配水池等の施設点検に水中ドローンを活用した。</li> </ul>	A

	ン（水中ドローン含む）の活用	おける点検時のドローン活用件数(R2からの累計) R4 5件 R5 8件 R6 9件 R7 10件 R8 11件	(2件) ・ダムの護岸状況の点検等に空中ドローンを活用した。(1件)  <b>【実績】</b> 点検時のドローン活用件数(累計): R4 9件	【A】
		ドローン操縦者の確保 (操縦者数) R4 5名 R5 6名 R6 7名 R7 8名 R8 9名	・ドローン操縦技能の習得のため、UAV操作技能講習会に参加した。  <b>【実績】</b> ドローン操縦者(累計): R4 5名	A 【A】
				総合 【A】
<b>設備の機能維持、長寿命化 【事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】</b>				
27	・保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及びDXの導入に併せた規程・基準の適宜見直し	点検件数 年度計画の100%実施	・運転保守基準に基づき、定期的な点検(946件)を実施した。  <b>【実績】</b> 点検件数: R4 946件 年度計画(946件)の100%実施 (R3 923件)	A 【A】
		規程、基準の見直し(適宜)	・設備の設置・更新状況、重要度・信頼性に基づき、保安規程、保守基準の見直しを行った。	A 【A】
				総合 【A】

経営目標3 経営力の強化

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
⑦ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり				
働き方改革の推進 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
28	・電子決裁システムの利用促進	利用率 毎年100%	・電子決裁システムの改修による利便性の向上、業務のさらなる見直し等により、電子決裁システムの利用促進を図り、決裁の迅速化・テレワークの推進・移動時間の削減・データの利活用などによる「業務の効率化」と「生産性の向上」を推進した。  【実績】取得率：R4 81%	B 【-】
29	・職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透	男性職員の配偶者の出産補助休暇の取得率 毎年100%	・特定事業主行動計画の推進及び幹部職員による「とくしま新しい働き方（スリーボス）宣言」の実施など、職員誰もが働きやすい職場環境づくりを推進し、2人が出産補助休暇を取得した。  【実績】取得率：R4 100%	A 【-】
		男性職員の育児参加のための休暇の取得率 毎年100%	・特定事業主行動計画の推進及び幹部職員による「とくしま新しい働き方（スリーボス）宣言」の実施など、職員誰もが働きやすい職場環境づくりを推進した。 ・男性職員の育児参加のための休暇の対象期間を拡大し、より活用しやすい制度へと改革し、2人が取得した。  【実績】取得率：R4 100%	A 【-】
新たな取組の推進に向けた組織体制の強化 【経営企画戦略課】				
30	・計画的な採用による人材補強	電気、機械職の継続採用枠の確保	・R4年度は、引き続き計画的な採用を実施し、人材補強を図るために電気職4名、機械職2名を採用した。	A 【A】
31	・新たな課題に対応するための検討チームの設置	他部局及び若手職員を含めたタスクフォースを設置し、課題を検討3課題以上/年	・3つのTF（企業局スマート化、日野谷大規模改修等検討、企業局広報・PR活動）を設置し、R5年度の当初予算への反映を行った。 ・徳島県自然エネルギー電力活用検討プロジェクトチーム（事務局：水素グリッド推進室）に参加し、課題について協議を行った。  【実績】TF設置・課題検討：R4 4件	A 【A】
活発な人事交流による幅広い視野と新たな発想を持った「人材育成」 【経営企画戦略課】				
32	・他部局、他機関との積極的な人事交流	本局への新規配置 年1名以上	・本局へ電気職2名の新規配置を行った。  【実績】本局への新規配置：R4 2名	A 【A】
		他部局等との人事交流の実施 年1名以上	・総務省（機械職1名）、市町村（那賀町、電気職1名）、グリーン社会推進課（電気職1名）、水・環境課（電気職1名）との人事交流を引き続き実施した。  【実績】他部局等との人事交流：R4 4名	A 【A】
総合 【A】				

技術伝承による現場力と技術力の強化 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
33	・若手職員育成、次代を担う職員への技術伝承、事業運営に必要な資格取得・研修の計画的実施	次代職員への知識 ・技能の引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に「転入者（新採）研修」を実施するとともに、通年で「現場操作訓練」、「事故復旧訓練」を実施した。</li> <li>・日常業務の中で「現場での点検作業や工事監督を活用した職場内研修・教育（OJT）」を実施した。</li> <li>・プレゼン能力の向上のため企業局技術発表会で8名が発表し、優秀者を表彰した。</li> </ul>	A 【A】
		電気主任技術者資格等の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気主任技術者等の資格取得のための講習など「資格取得」や「技能研修」を実施した。</li> </ul>	A 【-】
				総合 【A】
現場からの業務改善の徹底によるコスト意識の醸成 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室、総合管理推進センター】				
34	・業務と維持管理費等の効率化	現場職員と幹部職員との業務改善等に係る意見交換の実施 年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術発表会において幹部職員に対するTF成果報告を11月10日と15日に実施した。</li> <li>・各TFメンバーに幹部職員が入り、検討会の中で意見交換を実施した。</li> </ul> <p>【実績】意見交換年2回以上：R4 2回（技術発表会）</p>	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
<b>⑧ 脱炭素社会の実現に向けたGXの推進</b>				
水力発電設備の最大限活用 【事業推進課、総合管理推進センター】				
35	・日野谷発電所大規模改修に合わせた出力の増強	発電力増強の計画的な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最適な設備更新」と「発電能力の増強」の実現に向けた基礎資料を作成するため、構築物現状診断業務（R4～R5）を実施している。</li> <li>・「日野谷発電所大規模改修等プロジェクト検討会議」を1回開催し、各課題について検討を行った。</li> </ul>	A 【-】
36	・川口・勝浦発電所の発電能力の最大限活用	最大取水量の弾力的運用や高効率ランナ導入による発電力増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との協議等を進め、発電力増強の可能性について検討を実施した。</li> </ul>	A 【-】
多様な自然エネルギーの導入促進 【事業推進課】				
37	・地域資源に着目した自然エネルギー導入検討	先進的な導入事例調査等による導入可能性検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品残渣を利用した県内のバイオガス発電所の現地視察を実施した。</li> <li>・県内初の民間事業者が運営する小水力発電所の現地視察を実施した。</li> <li>・県内民間事業者の工場排水を活用した小水力発電の現地視察を実施した。</li> </ul>	A 【-】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価
<b>⑨ 経営資源の有効活用</b>			

電力システム改革への対応 【事業推進課】				
38	・売電収入の安定的な確保	県民利益の最大化に向けた契約手法の確立	・国の動向や電気事業関連の情報収集及び検討を実施した。	A 【－】
39	・社会情勢等を見据えた最適な契約方法や市場の動向を調査	各種会議等での情報収集、意見交換回数 4回以上／年	・他県と電力システム改革について、意見交換により、情報収集を図った。 ・今後の電力需給や様々な売電形態について、小売電気事業者等との意見交換会を実施した。（3回実施）  【実績】意見交換回数：R4 5回実施	A 【A】
未売水の低減対策 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
40	・新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大	契約有収率 (契約水量／給水能力) R4 74% R5 74% R6 75% R7 75% R8 76%	・阿南工業用水道において、2,000m <sup>3</sup> ／日の減量があった。 ・既存ユーザの増量見通しや要望について、アンケート調査や企業訪問等（15社）を実施した結果、阿南工業用水道の減量分はR6年度に回復する見込み。  【実績】契約有収率：R4 73% (R3 74%)	C 【B】
駐車場事業の経営健全化 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
41	・民間ノウハウを活用した駐車場サービスの向上	指定管理の更新	・R4年7月14日に第1回選定委員会を開催し、募集要項及び審査基準の決定を行い、7月22日から募集開始（募集要項の公表）し、申し出のあった2団体に配布した。 ・8月18日現地説明会に2団体参加があり、その後9月21日までの申請期間に1団体（株）ティビィケイからの応募があった。 ・10月19日の第2回選定委員会において、面接審査、書類審査を実施し、企業局長宛に結果報告がなされ、指定管理候補者を選定した。 ・11月定例県議会において、指定管理者の指定について議決をいただき、12月23日に指定に係る県報告示を行った。 ・R5年3月14日に基本協定書を締結した。	A 【－】
42	・駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保	利用台数 20万台以上／年へ回復 R4 18万台 R5 18.5万台 R6 19万台 R7 19.5万台 R8 20万台	・R3年度までのアンケート結果等から、ゲートレス、チケットレス、キャッシュレスとなる車番認識システムの導入を進め、R5年2月24日から一般利用（普通駐車）を開始した。 ・指定管理者において、阿波おどり練習用夜間定期割引キャンペーン及びカイロ無料配布キャンペーンを実施した。 ・R3年度に比べると利用台数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前に比べると松茂駐車場の利用台数の回復が約7割程度に留まっている。  【実績】利用台数：R4 利用台数169,910台	B 【C】
43	・藍場町地下駐車場へのA I ・ I o T導入による機能向上	車番認識システムの導入	・R3年度までのアンケート結果等から、ゲートレス、チケットレス、キャッシュレスとなる車番認識システムの導入を進め、R5年2月24日から一般利用を開始した。	A 【－】
44	・藍場町地下駐車場エレベータ周辺のモニター設置による局広報及び広告収入の開拓	企業局PR動画の放映	・デジタルサイネージを設置し、PR動画を放映した。 ・企業局の事業概要やPR動画について説明したポップを設置した。	A 【－】
		広告収入動画の放映	・指定管理者募集及び現地説明会において、藍場町地下駐車場のデジタルサイネージの活用を説明した。	A 【－】
				総合 【A】

駐車場の利便性向上策 【経営企画戦略課】				
45	・他施設、イベント等との連携	キャンペーン等の実施 年2回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿波おどり練習用夜間定期割引キャンペーンを実施した。</li> <li>カイロ無料配布キャンペーンを実施した。</li> <li>駐車場の1室を未来創生文化部和連携し、無償によりNPOビレッジとして活用した。</li> </ul> <b>【実績】</b> 年2回以上：R4 2回（キャンペーン）	A 【A】
局有地の有効利用 【経営企画戦略課】				
46	・工業用水道事業における未利用地への企業誘致	企業誘致の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用地の有償貸付について公募を行ったところ、1者から応募があり、同事業者を内定者に決定、覚書を締結した。</li> <li>R4年度に造成工事に着手し、工事が完了するR5年度に契約を締結、貸付を開始する見込み。</li> </ul>	A 【一】
工業用水道会計への財政支援 【経営企画戦略課】				
47	・工業用水道会計の負担軽減による進捗の加速	電気、土地造成事業からの資金融通の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業用水道事業長期工事計画において、資金需要に応じた資金融通計画の見直しを実施した。</li> </ul> (借入額累計31億円 H24: 2億、H27: 9億、H28: 9億、H29: 5億、R2: 4億、R4: 2億、残債26億円)	A 【A】
資金の効率的運用 【経営企画戦略課】				
48	・有利な運用利率の確保と検討	効率的な資金運用の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>金利引合による短期定期運用（3ヶ月定期）により、最も安全かつ有利な資金運用を実施した。</li> <li>資金の流動性確保に努めた。</li> <li>多様な運用先の検討として他都道府県の電気事業者に運用先に関するアンケートを行い、特徴的な団体に対しては追加でヒアリングを行った（アンケート25団体、ヒアリング5団体）</li> </ul>	A 【A】

取組	KPI 重要業績評価指標	令和4年度の進捗状況	評価	
<b>⑩ 利用者ニーズの的確な把握</b>				
制度改正等の情報収集・提案 【経営企画戦略課、事業推進課、施設基盤整備室】				
49	・制度改正、規制緩和に向けた政策提言	政策提言の実施及び政策への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月の政策提言において、「水力発電の導入拡大に向けた系統接続等への支援」について提言した結果、R5当初予算の一部が反映された。</li> </ul>	A 【A】
利用者のニーズ調査 【経営企画戦略課、総合管理推進センター】				
50	・工業用水受水企業訪問(毎年)、アンケート調査によるニーズ把握	企業訪問数 15社以上/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>受水企業11社及び新規企業4社に対し、企業訪問等を実施した。</li> </ul> <b>【実績】</b> 企業訪問15社以上：R4 15社	A 【B】
		アンケートの毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査（例年実施分）を12月に実施した。（内容は、基礎データ、使用水量見通し等）</li> <li>アンケートの結果、工業用水受水企業のうち吉野川北岸工業用水道2社、阿南工業用水道1社の増量計画を確認した。</li> </ul>	A 【A】
				総合 【A】
51	・駐車場利用者のアンケート調査	アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場事業の指定管理者において、R4年4月～R5年3月の間、</li> </ul>	A

	査等によるニーズ把握	年1,000人以上	<p>藍場町地下駐車場の利用者に対し、アンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さらに、「県営駐車場アンケート事業」として、R4年6月～R5年3月の間、藍場町地下駐車場及び松茂駐車場の利用者に対し、新たなニーズの掘り起こしのため、キャッシュレスやゲートレスなど新システムの導入に関する内容を一部追加し、アンケート調査を実施した。</li> </ul> <p>【実績】アンケート1,000人以上：R4 1,116人</p>	【B】
		駐車場事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>R3年度までのアンケート結果等から、ゲートレス、チケットレス、キャッシュレスとなる車番認識システムの導入を進め、R5年2月24日から一般利用を開始した。</li> <li>指定管理者の提案もあり、R5年度以降に、松茂駐車場のカーシェアリング導入を検討し、R5当初予算に反映した。</li> </ul>	A 【一】
				総合 【A】
<b>各種媒体の活用 【経営企画戦略課】</b>				
52	・SNS等の活用	SNSフォロワー数 100人以上増/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業局SNSを継続し、R4年度にフォロワー数134人が増加した。</li> </ul> <p>【実績】SNSフォロワー増加数：フェイスブック24人増、ツイッター110人増</p> <p>R4 Facebookアクセス数:20,496, Twitterアクセス数:154,577 Facebookフォロワー数:175, Twitterフォロワー数:750</p> <p>R3 Facebookアクセス数:4,719, Twitterアクセス数:89,959 Facebookフォロワー数:151, Twitterフォロワー数:640</p> <p>R2 Facebookアクセス数:7,682, Twitterアクセス数:112,562 Facebookフォロワー数:142, Twitterフォロワー数:519</p> <p>R1 Facebookアクセス数:14,146, Twitterアクセス数:60,918 Facebookフォロワー数:ー, Twitterフォロワー数:360</p>	A 【A】
<b>経営情報の開示 【経営企画戦略課】</b>				
53	・第三者が行う会議やホームページでの開示とパンフレット ・冊子の発行	決算状況等を会議やホームページで開示 毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的経営推進委員会で決算概要を開示した。</li> <li>企業局ホームページで決算概要、財務諸表、予算概要を開示した。</li> </ul>	A 【A】